

三重の逸品スコラ

# 三重の風と土が育んできたもの

植島啓司 宗教人類学者

内田鋼一 陶芸家

米田恭子 Jikonka オーナー

2016 1.25 日 16:00 - 19:00

三重テラス 2階イベントスペース  
(東京都中央区日本橋室町2-4-1 「YUITO ANNEX」)

参加費 500 円 (交流会費として)

主催 三重県

申し込み  
先着  
60名様



三重の逸品スコラ

# 三重の風と土が育んできたもの

豊かな自然と人々の歴史や文化に彩られた三重県。海、山、川、そして里の多彩な表情の奥には、数多くの資源が眠っています。こうした自然の恵みや伝統の技術をいかして、食や工芸の優れた製品がつくられてきました。

三重の信仰文化に造詣の深い植島氏をお迎えし、三重の魅力ある製品の作り手、紹介者とともに、それぞれの思いをお話しいたします。今回のテーマは、「三重の工芸品」です。また、この機会に四日市萬古焼、伊賀焼、伊勢春慶などの三重の伝統工芸品や三重の手しごとに触れていただき、あらためてご興味をお持ちいただければ幸いです。

## プログラム

- 16:00 開会 主催者挨拶  
三重を知るトーク「三重の風と土が育んできたもの」  
植島啓司 内田鋼一 米田恭子
- 17:30 三重に触れる交流会（試飲試食、個別相談など）
- 19:00 閉会



植島 啓司

うえしま けいじ

©森川由美

東京都生まれ。宗教学者。東京大学卒業。ニューヨークのニュースクール・フォー・ソーシャルリサーチ客員教授、関西大学教授などを歴任。2015年から京都造形芸術大学芸術学部空間演出デザイン学科学科長に就任。著書に『伊勢神宮とは何か』『きみと地球を幸せにする方法』『処女神』『世界遺産 神々の眠る熊野を歩く』などがある。



内田 鋼一

うちだ こういち

愛知県生まれ。陶芸家。愛知県立瀬戸窯業高等学校陶芸専攻科修了後、世界各国の窯場に住み込み修行を重ねる。1992年四日市市に窯場を構えて独立し、国内外で精力的に作品を発表。著書に『MADE IN JAPAN』などがある。2015年11月、四日市市に明治～昭和時代の萬古焼を集めた「BANKO archive design museum」を開館。



米田 恭子

よねだ きょうこ

三重県生まれ。Jikonka オーナー。大学で陶芸を専攻。陶芸家としての活動を経て、1998年亀山市関宿に而今禾（じこんか）をつくる。現在は三重のほか、東京都世田谷区、台北市にもショップを展開している。カフェやギャラリー、オーガニックマーケットなどを通じて、衣食住にまつわるさまざまなライフスタイルを提案している。

## お申込み（先着 60 名様）

参加をご希望の方は、下記のいずれかの方法にてお申込みください。先着 60 名様をご招待します。お申込みの際には、入場を希望される方のお名前、電話番号等をお知らせください。

なお、当日は交流会費として 500 円が必要です。

### お申込先（件名）：「三重の逸品スコラ」係

#### ■（公財）三重県産業支援センター

電話 059-228-3585 FAX 059-228-3800  
Eメール chiiki@miesc.or.jp

#### ■ 三重県雇用経済部地域資源活用課

電話 059-224-2336 FAX 059-224-2078  
Eメール chishi@pref.mie.jp

\*ご記入いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。

## 会場

### 三重テラス

東京都中央区日本橋室町2-4-1  
「YUITO ANNEX」1・2F



### 交通アクセスのご案内

東京メトロ半蔵門線・銀座線「三越前」駅直結（A9 番出口）  
JR 総武線快速「新日本橋」駅直結（A6 番出口）  
JR 山手線・中央線・京浜東北線「神田」駅より徒歩 5 分